校長室から ひがしなら通心

（Ｈ２９年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２２

平成２９年８月２８日（月）発行

便利な道具ですが・・・

さて、学校であれば、今日いっしょに遊ぼうって、友だちと約束できますが、夏休みはそうはいきません。そんなとき、みなさんはどうしていますか。今は、携帯電話やスマートフォンなど便利なものがあるので、もしかしたら、メールなどで友だちを誘っていることがあるかもしれません。

ところで、こんな出来事がありました。夏休みのある日、６年生のＡさんは、友だちのＢさんと遊ぼうと思って「今日遊べる？」とメールしました。Ｂさんからの返事は「無理！」。Ａさんは、Ｂさんのこの返事にすっかり怒ってしまいました。ところが、この返事を送ったＢさんは、夏風邪をひいてしまって、とてもじゃないけど今日は遊べないと思ってメールをしていたのです。

もし、Ａさんが直接Ｂさんの家に誘いに行ったり、電話を使っていたりしたら、Ｂさんが風邪をひいてしまっていて、とてもいっしょに遊ぶのは無理であることがよくわかったと思います。Ｂさんも風邪をひいてしまったことをきちんと説明すればＡさんに誤解させるようなことはなかったのでしょう。このように、メールの文字だけでは、その時の気持ちや感情が伝わらないので、誤解を招いたり、相手を傷つけてしまったりすることがあります。

では、この場合ＡさんやＢさんはどうすれば誤解を招かなかったのでしょうか。Ａさんは、Ｂさんのことをよく理解していれば、「何があったの？」とメールすることでＢさんが風邪をひいてしまったことがわかったでしょう。Ｂさんは「無理！」という返事を送ってＡさんがわかってくれるかなと送信する前に確認するとよかったと思います。お互い顔が見えないメールでは、相手の考えを思いやることが大切です。

このようにメールやインターネットは、使う上でルールやマナーがあります。メールやインターネットの使い方については、おうちの人とよく話し合って約束事を決めておくことが大切です。便利な道具だからこそ、ルールやマナーを守って正しい使い方をしましょう。

ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子

「仲のよい学校」100％をめざそう！

みなさんは今まで、友だちの一言でたいへん勇気づけられたり、元気づけられたりしたことはありませんか。また逆に、その一言で深く傷ついたり、気分を悪くしたことはありませんか。

他の友だちから言われてうれしくなったり、元気になったりする言葉を「ふわふわ言葉」と言います。
その反対に、言われてイヤな気持ちになったり、悲しい気持ちになったりする言葉を「ちくちく言葉」と言います。
「ふわふわ言葉」として、「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」「じょうずだね」「だいじょうぶ」「いっしょに遊ぼう」「さようなら」などがありますね。人は誰でも、「よくがんばったね」とか「〇〇がじょうずだね」とか「〇〇してくれてありがとう」などと言われるとうれしいものです。やる気もわいてきます。

だから、毎日の学校生活で、「ふわふわ言葉」を意識して使ってみましょう。そうすれば、友だちとのふれあいが深まったりするものです。そして、「仲のよい学校」１００％をめざしていきましょう。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール１３　質問には完全な文章で答えよう

「日本の首都はどこですか？」と聞かれたら、「東京」ではなく「日本の首都は東京です」と答えよう。

●「お元気ですか？」と聞かれたら、「はい」だけでなく、「はい、おかげさまで元気です。あなたはいかがですが？」と答えるのがいい。きちんとした文章で答える練習をすると、考える力がついて、問題に答えたり、作文を書くのにも役に立つ。